



いまこそ集落創生

第17回 杉沢地区



杉沢地区保全会のメンバー。今は水路を中心に整備を行っている。保全会活動を通して話し合いの場も増え、協力して作業することで絆も深まっていると話す

町中心部から北へ約10km、中田春木川の上流に位置する誇り高き山村「杉沢地区」。約10世帯、30名程が暮らす町の中でも比較的小さな地区ですが、その取り組みはエネルギーにあふれ、多くの人々を惹きつけます。

山村ならではの豊かな暮らしを集落ぐるみで提供し、体験交流を実践する「共生のむら・すぎさわ」。平成10年に組織され、グリーンツーリズムの普及に合せて、一躍脚光を浴びました。楓の樹液「メープルサップ」の商品化や都市住民とともに買い取った空き家を活用する「山村金山スロー村」など、次々と取り組みを展開。山村に新たな風を巻き起こし、ピーク時には年間2000人あまりが地区を訪れました。

しかし、惜しまれつつ平成24年にむらは解散。杉沢にも高齢化や人口減少の波が押し寄せています。「昔から続いていた念佛講もやらなくなった。各家を順番に回していた宿も廃止。神社の掃除後に、お供えものをするのみだ」と千川原雄一区長は行事の現状を話します。続けて「それでも残したいものは田や畑。山村の原風景だ。家を出た子ども達がいつか帰ってきたときに、そのままの杉沢が残っているように荒廃から守っていかなければ」と力を込めます。

さらなる戸数の減少を懸念しながらも千川原区長は「住民同士協力し合い活動していく」と笑います。「本当の豊かさ」とは何か。かねてからその答えを追及し、山村の暮らしと向き合ってきた杉沢。これからは「自然と人間」「山村と都市」「歴史と未来」の3つの共生をゆるやかに続けていきます。

金山町の人口は、5,460人（6月末現在）

	男性	2,657人（-1）
	女性	2,803人（-2）
	世帯数	1,762世帯

▼6月の異動

出生	3人
死亡	7人
転入	2人
転出	1人

編集 幸記

▼今年も3番員として出場した消防操法大会。2年目でしたが昨年より順位をひとつ上げ、入賞することができました。また先日、春の健康診断で引っかけた中性脂肪の再検査を受けたところ、思った以上に値が下がり、正常値に。どちらも1カ月の練習の賜物と思っています。

▼参議院議員選挙が7月21日に投票されました。町の投票率は76・49%。町議選が同時に行われた飯豊町に次ぐ県内2位と、高い投票率をキープしました。（中井）